BUFFALO

ノートパソコン用ハードディスク

HD-N/M・NH/M シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品のQ&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク.................... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意していただきたい事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク......... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
A: フロッピードライブ、C: ハードディスク

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB = 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB = 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・文中 < > で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。(例)<Enter>

・本書では、Windows 98 Second Edition を Windows 98SE と表記しています。また、MS-DOS と PC DOS を合わせて DOS と表記しています。

・本書では、Windows Millennium Edition を Windows Me と表記しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意) が描かれています。
⊘	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

禁止

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。

特に CPU や VGA チップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチを OFF にした後、30 分以上たってから作業することをおすすめします。

強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。また、本製品のシールをはがした場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグをコンセントに接続したまま取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンの電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンの電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品やパソコンを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐにパソコンの電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品やパソコンに液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにパソコンの電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

⚠ 注意

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータを MO ディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください 。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（MO ディスク 、フロッピーディスク等）にバックアップしてください。

とくに修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合にデータは消失、破損する恐れがあります。

- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチを OFF にした直後に、すぐに電源スイッチを ON にしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電や火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
  故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
  故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
  故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ
  故障や感電の原因となります。
- ほこりの多いところ
  故障の原因となります。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目次

4 付録 26

1 ご使用になる前に

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

1　ご使用になる前に.................. 本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

2　取り付け.................................. 本製品をパソコンに取り付ける手順を説明しています。

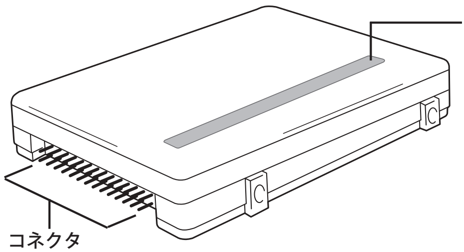
3　OS のインストール .... 本製品に OS をインストールする手順を説明しています。

4　付録... 付属ソフトの説明や本製品の仕様・制限事項について説明しています。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●ハードディスク（本体）...1 台



※ハードディスク上面には、通気のために穴があいていることがあります。そのようなときは、シールで塞ぐことがないようご注意ください。

●絶縁シート ....1 枚

※ パソコンの機種によっては、絶縁シートを貼らないと本製品とパソコンの金属部分がショートして故障することがあります。詳しくは、「絶縁シートの貼りかた」【P8】を参照してください。

●シリアル No. シール ....1 枚

※ ハードディスクが入っている袋に、シリアル No. シールが貼り付けてあります。このシールをハードディスクに必ず貼り付けてください。【上記イラスト参照】

ハードディスクにシールが貼り付けられていない場合、保証期間内でも修理が有償になります。ご注意ください。

●ユーティリティ CD..1 枚

※ Acronis True Image LE の起動用 CD にもなっています (Widnows Vista を除く)。パソコンを起動・再起動するときはユーティリティ CD をパソコンから取り出してください。そのまま起動・再起動すると、Windows が起動する前に Acronis True Image LE が起動することがあります。

●ユーザーズマニュアル（本書）.....................1 冊

※ 本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

作業のながれ

次の手順で作業を行います。

- バックアップディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコンのマニュアルを参照してバックアップディスクを作成する — パソコンのマニュアル参照
- パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、ケーブル類を外す
- ▼
- 本製品を固定ディスクスロットに取り付ける
- ▼
- パソコンの電源スイッチを ON にする

（以上の3項目）「2 取り付け」【P8】参照

▼

- OS をインストールする
- ▼
- パソコンを再起動する

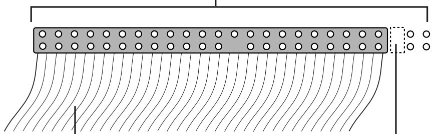
（以上の2項目）「3 OS のインストール」【P13】参照
※ バックアップディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコンのマニュアルを参照してください。

2 取り付け

本製品をパソコンに取り付ける手順の例を説明しています。

取り付けの前に

- パソコンや本製品は精密機器です。必ず巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」をお読みください。
- パソコンの電源スイッチを OFF にする前に、すべてのアプリケーションを終了し、ハードディスクなどに記録されている大切なデータを､他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。
- 本製品を取り付ける前に、必ずパソコンの電源スイッチを OFF にし、AC アダプタとバッテリーを取り外してください。【パソコン本体のマニュアルを参照】
- バックアップディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコンのマニュアルを参照してバックアップディスクを作成してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱いかたについては、各機器のマニュアルに従ってください。
- 次の物を用意してください。
  ・パソコンと周辺機器のマニュアル
  ・ドライバーなどの工具
- ハードディスクのコネクタは、次の図のように接続してください。
  パソコンの機種によっては、本製品をパソコン本体に取り付けたときのコネクタの向きがイラストと異なることがあります。

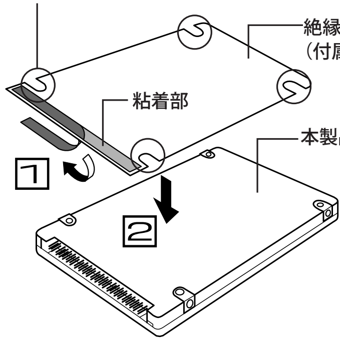


絶縁シートの貼りかた

次のいずれかの項目に該当するときは、本製品をパソコンに取り付ける前に、付属の絶縁シートを本製品に貼り付けてください。

- パソコンに搭載されていたハードディスクに、金属製のカバーが取り付けられている場合（例：コンパック社製ノートパソコン）。
- パソコンに搭載されていたハードディスクに、絶縁シートが貼り付けられている場合。

⚠注意 上記に該当するパソコンで絶縁シートを貼り付けなかった場合、ショートして本製品が故障するおそれがあります。
上記に該当しない場合、絶縁シートを貼り付ける必要はありません。絶縁シートは大切に保管してください。



1 はくり紙をはがす。

2 粘着部のある面を本製品に向け、絶縁シートを貼り付ける。

取り付け手順例

作業の際は、パソコン本体のマニュアルに記載されている手順に必ず従ってください。

ここで説明する取り付け手順は一例です。本書で説明していない機種への取り付け手順例を弊社ホームページで参照することもできます。

【機種別 NOTE パソコン用ハードディスク交換手順】
http://buffalo.jp/stepup/setup/dvn/index.html

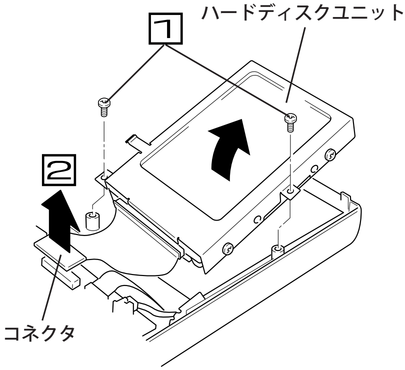
取り付け手順例

PC98-NX シリーズ VP26C、VP23C、VP16C、VP13C での取り付け手順の例を説明します。

1　パソコンのマニュアルを参照して、パソコンのカバーを開きます。

通常は、メモリの増設方法の説明部分に記載されています。

2　ハードディスクユニットを取り外します。

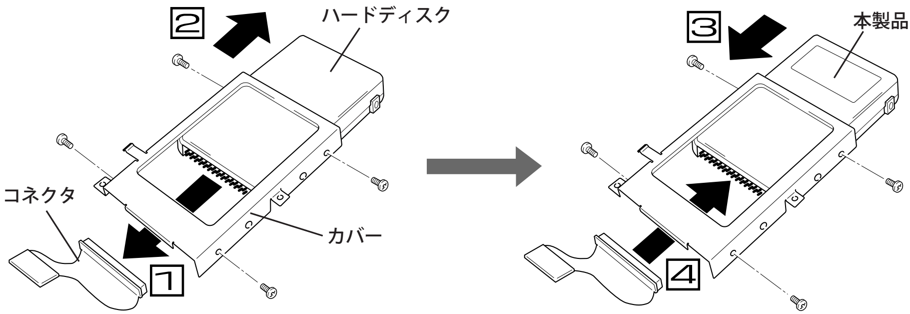


⚠注意　コネクタに無理な力が加わらないように注意して、コネクタの根元を持って取り外してください。ケーブル部分を引っ張ったり無理に曲げたりすると、断線したり、ピンが曲がったりするおそれがあります。

1 ネジを外す
※ ネジの位置、数はパソコンによって異なることがあります。

2 パソコンからコネクタを抜く

3　ハードディスクを本製品に交換します。



1 ハードディスクからコネクタを抜く

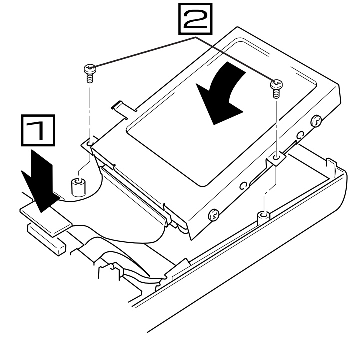
2 ネジを外してハードディスクをカバーから取り外す

3 本製品をカバーにネジ止めする

4 本製品にコネクタを取り付ける

次のページへ続く

4 ハードディスクユニットをパソコンに取り付けます。



1 コネクタをパソコンに接続する

2 ハードディスクユニットをパソコンにネジ止めする

5 パソコンのマニュアルを参照して、パソコンのカバーを閉じます。

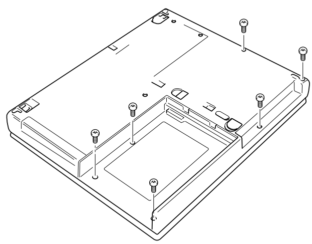
以上で取り付けは完了です。

次へ 本製品に OS をインストールします。【P13】

PC98-NX シリーズ VA70J/AF、VA65J/AF、VA36D/WX での取り付け手順の例を説明します。

1 バッテリーと CD-ROM ドライブを取り外します。

取り外しかたは、パソコンのマニュアルを参照してください。

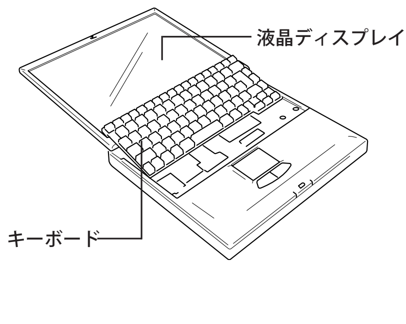


2 ネジを外します（6 箇所）。

3 液晶ディスプレイをいっぱいに開いて、キーボードを取り外します。

キーボードの取り外しかたは、パソコンのマニュアルを参照してください。
通常は、メモリの増設方法の説明部分に記載されています。

注意 液晶ディスプレイを傷つけないように注意してください。



次のページへ続く

4 キーボードの手前のカバーを取り外します。

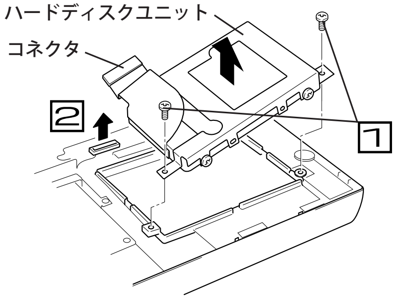
⚠注意 ・カバーのツメを外すときに、けがをしたりパソコンを傷つけたりしないよう、十分注意してください。
・ケーブルはコネクタを持って外してください。ケーブルを引っ張ると断線するおそれがあります。

5 ハードディスクユニットを取り外します。

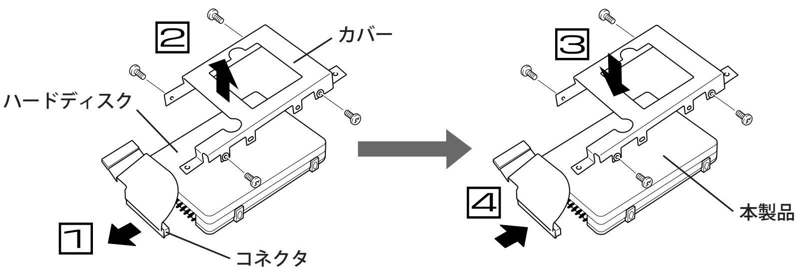
⚠注意 コネクタに無理な力が加わらないように注意して、コネクタの根元を持って取り外してください。
ケーブル部分を引っ張ったり無理に曲げたりすると、断線したり、ピンが曲がったりするおそれがあります。

1 ネジを外す

2 パソコンからコネクタを抜く



6 ハードディスクを本製品に交換します。



1 ハードディスクからコネクタを抜く

2 ネジを外し、ハードディスクをカバーから取り外す

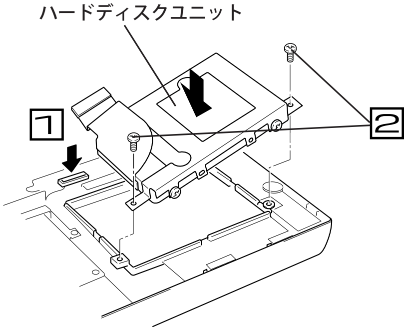
3 本製品をカバーにネジ止めする

4 本製品にコネクタを取り付ける

2
取り付け

次のページへ続く

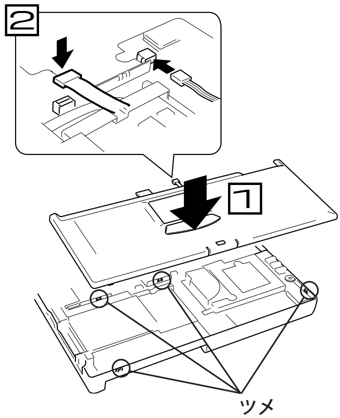
7 ハードディスクユニットをパソコンに取り付けます。



1 コネクタをパソコンに接続する

2 ハードディスクユニットをパソコンにネジ止めする

8 パソコンのカバーを取り付けます。



1 4 箇所のツメがしっかりと固定されるようにカバーを取り付ける

2 2 本のケーブルを取り付ける

9 キーボードを取り付け、液晶ディスプレイを閉じます。

キーボードの取り付けかたは、パソコンのマニュアルを参照してください。

10 パソコンを裏返して、手順 2 で取り外したネジを締めます。

11 バッテリーと CD-ROM ドライブを取り付けます。

取り付けかたは、パソコンのマニュアルを参照してください。

以上で取り付けは完了です。

次へ 本製品に OS をインストールします。【P13】

3 OS のインストール

パソコンに取り付けた本製品に OS をインストールする手順を説明します。

メモ ・詳しい手順は OS のマニュアル、またはパソコンのマニュアルを参照してください。
・本製品を起動ドライブにしない場合は、OS をインストールする必要はありません。フォーマットだけを行ってください。

ご注意

OS をインストールするときは、以下のことにご注意ください。

● **本書に記載されているインストール手順は一例です。必ず使用しているパソコンと OS のマニュアルを参照してください。**

● **OS をインストールやフォーマットする前に、ハードディスクの環境をもう一度確認してください。**
OS のインストールやフォーマットをすると、選択したドライブ内のデータはすべて消去されます。誤って大切なデータやプログラムを消去してしまうことのないように、フォーマットするドライブのドライブ名を必ず確認しておいてください。

● **PC98-NX シリーズで使用する場合**
CyberTrio-NX がインストールされている機種では、CyberTrio-NX をアドバンスモード以外にしていると、Disk Formatter が使用できないことがあります。CyberTrio-NX は、アドバンスモードにしておいてください。設定の変更手順は、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

● **OS のインストールやフォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、パソコンを再起動しないでください。**
ディスクが破損するおそれがあります。また、その後の動作に関しても保証できませんのでご注意ください。

● **容量に関する制限事項 (8.4GB 以上、32GB 以上、137GB 以上)**
ディスク容量 8.4GB 以上、32GB 以上、137GB 以上のハードディスクを使用するには、パソコン本体が 8.4GB 以上、32GB 以上、137GB 以上のハードディスクに対応している必要があります。8.4GB 以上、32GB 以上、137GB 以上のハードディスクへの対応については、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

次のページへ続く

● フォーマット時の制限について

Windows Vista/XP/2000 では OS のインストール中に、Windows Me/98SE/98 では OS のインストール前に本製品をフォーマットする必要があります。お使いの OS によって制限事項がありますのでご確認ください。

OS	制限事項
Windows Vista	OS の機能で NTFS 形式にフォーマットしてください。パーティションのファイルシステムに FAT32 を使用する場合、本製品付属の「DiskFormatter」でフォーマットしてください（P30）。OS の機能でフォーマットした場合、1 パーティションあたりの最大サイズは 32.7GB となります。
Windows XP/2000	パーティションのファイルシステムに FAT32 を使用する場合、本製品付属の「DiskFormatter」でフォーマットしてください（P30）。OS の機能でフォーマットした場合、1 パーティションあたりの最大サイズは 32.7GB となります。
Windows 98SE/98	Windows 98SE/98 付属のパーティション作成ソフト「FDISK」は、64GB を越える容量のハードディスクに対応していません。この問題を解消した「FDISK」を、マイクロソフト社のホームページ（http://support.microsoft.com/）からダウンロードして、ハードディスクをフォーマットしてください。 なお、OS をインストールしない場合は、本製品付属の「Disk Formatter」で 64GB を超えるハードディスクもフォーマットできます。
Windows Me	特に制限はありません。

※ フォーマット形式（NTFS、FAT32、FAT16）については、以下を参照してください。

FAT16、FAT32、NTFS の特徴

FAT16、FAT32、NTFS には、それぞれ次のような長所と短所があります。

※ ここでは、各フォーマット形式の一般的な特徴を説明しています。本製品は、Windows 95/NT/3.1 、DOS などには対応しておりませんのでご注意ください。

FAT16

長所 Windows 95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS でも使用できる。

短所
- 1 つの領域として確保できる容量は最大 2047MB まで。
- 確保する容量が大きくなるとクラスタサイズも大きくなり、ディスクの使用が非効率的になる。

FAT32

長所
- クラスタサイズがFAT16よりも小さく、ディスクを効率的に使用できる。

短所
- Windows 95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS などでは使用できない。
- 1 ファイルの容量は最大 4GB まで。
- 確保する領域が 512MB 以下のときは、FAT16 としてフォーマットされる（FAT32 としてはフォーマットできません）。

NTFS

長所
- 1 ファイルが 4GB 以上でも保存できる。

短所
- Windows Me/98SE/98/95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS などでは使用できない。

パソコン付属の CD-ROM からインストールする

インストール手順はパソコンのマニュアルを参照してください。

⚠注意 **137GB 以上の製品に Windows XP/2000 をインストールする場合は、OS のインストール後に、次ページの「137GB 以上の製品をお買い上げの方へ」を参照して、付属のユーティリティを実行してください。ユーティリティを実行しないと、データが破損、消滅する恐れがあります。**

メモ OS をインストールした後、ハードディスク内に未使用領域がある場合は、パーティションを作成し、フォーマットしてください。

Windows Vista/XP/2000 のインストール

インストール手順は Windows のマニュアルを参照してください。インストール中にフォーマットが実行されるので、画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

インストール手順

Windows を新規にインストールする場合の一般的な手順は、次のとおりです 。

ハードディスクをパソコンに取り付ける

▼

Windows の起動ディスクから起動する

▼

Windows をインストールする【各 OS のマニュアルを参照】

▼

パソコンを再起動する

⚠注意 **Windows XP/2000 で 137GB 以上の本製品をお使いの場合は、OS のインストール後に、次の「137GB 以上の製品をお買い上げの方へ」を参照して、付属のユーティリティを実行してください。ユーティリティを実行しないと、データが破損、消滅する恐れがあります。**

137GB 以上の製品をお買い上げの方へ (Windows XP/2000 のみ)

OS をインストールした後に以下の手順を行ってください

Windows XP/2000 で 137GB 以上の本製品を使用する場合、以下の手順を行わないとデータが破損・消滅する恐れがあります。必ず以下の手順を行ってください。

※ 137GB 未満の製品の場合は、以下の手順を行う必要ありません。

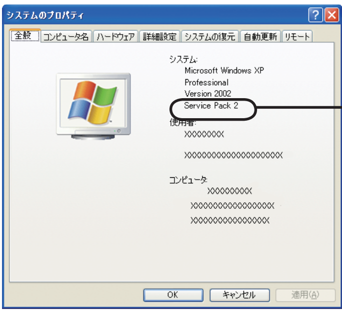
■サービスパックの確認をする

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にします。**

2 **[スタート] メニュー内（Windows 2000 の場合はデスクトップ）の [マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックをします。**

プロパティ画面が表示されます。

3



Windows XP の場合は「Service Pack 2」以上、Windows 2000 の場合は「Service Pack 3」以上が表示されていることを確認してください。

表示されていない場合は、Windows Update(http://windowsupdate.microsoft.com/) からインストールしてください。

Windows XP をお使いの場合は、以上で完了です。
Windows 2000 をお使いの場合は、以下の「ユーティリティを実行する（Windows 2000 のみ）に進んでください。

■ユーティリティを実行する（Windows 2000 のみ）

1 **パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。**

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、[マイ コンピュータ (またはコンピュータ)] 内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 **「137GB 以上の製品をご購入の方へ」を選択し、[開始] をクリックします。**

以降は画面の指示に従って実行してください。

Windows Me/98SE/98 のインストール

本製品に Windows Me/98SE/98 をインストールする手順は、パソコンの環境によって異なります。パソコン本体や Windows のマニュアルに記載された手順に従ってインストールしてください。ここでは、Windows 付属の FDISK を使って本製品に領域を作成してから、フォーマットし、Windows をインストールする手順を説明します。

⚠注意
- **事前に、パソコンおよび Windows のマニュアルに記載されている、ハードディスクのフォーマットや Windows のインストールに関する項目を必ず参照してください。**
- **ここでは起動ディスクから FDISK を実行し、領域を作成する手順を説明します。パソコンまたは Windows に付属する起動ディスクを用意してください。起動ディスクがない場合は、パソコンまたは Windows のマニュアルを参照し、作成してください。**
- **本製品に Windows Me/98SE/98 をインストールする場合、付属の「Disk Formatter」は使用できません。**

手順の概要

1 DOS プロンプトを起動し、FDISK コマンドを実行する【P18】

▼

2 基本 MS-DOS 領域を任意の容量で作成する【P19】

▼

拡張 MS-DOS 領域を作成する【P20】

▼

拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成する

▼

パソコンを再起動する

▼

3 作成した領域をフォーマットする【P24】

▼

Windows のマニュアルを参照して Windows Me/98SE/98 をインストールする

1 FDISK の起動

1 Windows の起動ディスクをフロッピードライブにセットして、パソコンの電源スイッチを ON にします。

2 DOS のプロンプトが起動したら、FDISK と入力し、<Enter> キーを押します。

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか？」と表示されます。

```
512 MB以上のディスクがあります．このバージョンのWindowsでは，大容量のディスク
のサポートが強化され，ディスク領域を有効に使えるようになりました．2 GB以上の
ドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます．

重要 ： 大容量ディスクのサポートを使用可能にして，このディスクに新しいドライブ
を作成した場合，ほかのオペレーティング システムを使ってこの新しいドライブに
アクセスすることはできません (Windows 95とWindows NTの特定のバージョン，
以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む)．また，FAT32ファイルシステム
用に設計されていないディスクユーティリティは，正常に動作しません．
このディスクでほかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティ
にアクセスする必要がある場合，大容量ドライブのサポートは使用しないでください．

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N)...........? [ ]
```

・１つの領域で確保したい容量が 2.1GB 以上のときは、<Y> キーを押してから <Enter> キーを押します。
・１つの領域で確保したい容量が 2.1GB 以下のとき、または、FAT32 非対応のアプリケーションを使用するときは、<N> キーを押してから <Enter> キーを押します。

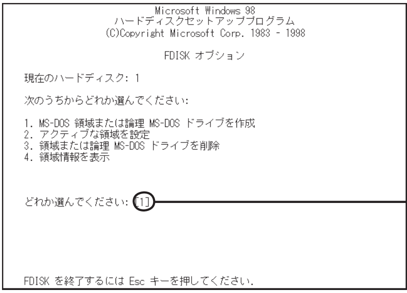
⚠注意 **<Y> キーを押して大容量ハードディスクのサポートを使用可能にすると、ファイルシステムが FAT32 になります。Windows Me、Windows 98SE/98、Windows Vista/XP/2000 以外の OS では使えなくなります。**
<N> キーを押すと、ファイルシステムは FAT16 になります。

※ FAT32 と FAT16 の違いについては、P14 を参照してください。

2 領域の作成（確保）

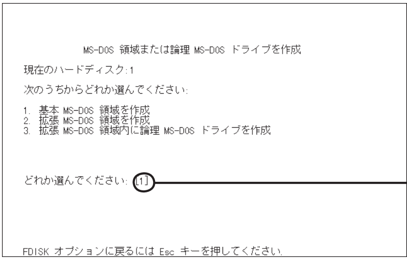
● 基本 MS-DOS 領域を作成する
本製品を起動ドライブにするときは、必ず基本 MS-DOS 領域を作成してください。

1



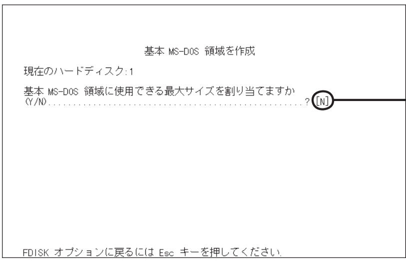
1 を入力し、<Enter> キーを押します。

2



1 を入力し、<Enter> キーを押します。

3

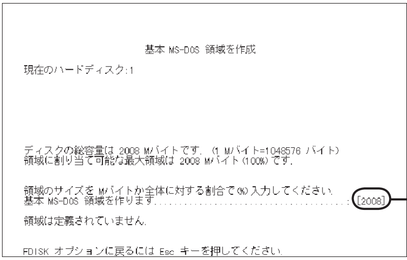


N を入力し、<Enter> キーを押します。

最大サイズを割り当てるときは、Y を入力して手順 **5** へ進んでください。

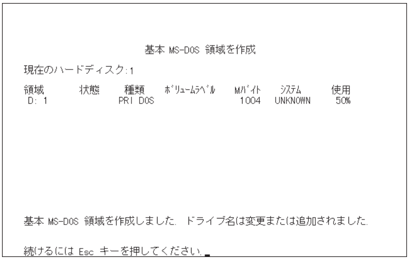
次のページへ続く

4



作成したい基本 MS-DOS 領域のサイズを MB または%で入力し、<Enter> キーを押します。
基本 MS-DOS 領域が作成されます。

5



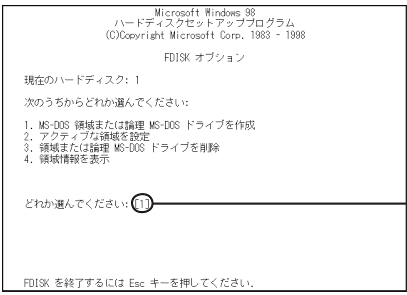
<Esc> キーを押します。

⚠注意 **全ての領域を基本 MS-DOS 領域に割り当てた場合は、拡張 MS-DOS 領域を作成する必要ありません。FDISK の画面に戻ったら、再度 <ESC> キーを押して FDISK を終了させてください。その後、Windows の起動ディスクをパソコンにセットしたままパソコンを再起動して、本製品をフォーマットしてください。【P24「フォーマット」】**

● 拡張 MS-DOS 領域の作成

FDISK では、基本 MS-DOS 領域を作成した後に、残りの領域を拡張 MS-DOS 領域として作成できます。本製品を起動ドライブとして 1 ドライブだけで使用する場合は、拡張 MS-DOS 領域を作成する必要はありません。

1



1 を入力し、<Enter> キーを押します。

次のページへ続く

2

```
MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成

現在のハードディスク: 1

次のうちからどれか選んでください:

1. 基本 MS-DOS 領域を作成
2. 拡張 MS-DOS 領域を作成
3. 拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成

どれか選んでください: [2]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください.
```

2 を入力し、<Enter> キーを押します。

3

```
拡張 MS-DOS 領域の作成

現在のハードディスク:1

領域    状態    種類    ボリュームラベル    Mバイト    システム    使用
 D: 1           PRI DOS                     1004    UNKNOWN     50%

ディスクの総容量は 2008 Mバイトです. (1 Mバイト=1048576 バイト)
領域に割り当て可能な最大領域は 1004 Mバイト( 50%)です.

領域のサイズを Mバイトか全体に対する割合で(%)入力してください.
拡張 MS-DOS 領域を作ります.....................................:[1004]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください.
```

作成したい拡張 MS-DOS 領域のサイズを MB または%で入力し、<Enter> キーを押します。
拡張 MS-DOS 領域が作成されます。

4

```
拡張 MS-DOS 領域の作成

現在のハードディスク:1

領域    状態    種類    ボリュームラベル    Mバイト    システム    使用
 D: 1           PRI DOS                     1004    UNKNOWN     50%
    2           EXT DOS                     1004    UNKNOWN     50%

拡張 MS-DOS 領域を作成しました.

続けるには Esc キーを押してください.
```

<Esc> キーを押します。

5

```
拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成

論理ドライブは定義されていません.

拡張 MS-DOS 領域は全部で 1004 Mバイトです. (1 Mバイト=1048576 バイト)
論理ドライブに割り当て可能な最大領域は 1004 Mバイトです. (100%)
論理ドライブのサイズを Mバイトか全体に対する割合(%)で入力してください[ 500]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください.
```

作成したい論理 MS-DOS ドライブのサイズを MB または%で入力し、<Enter> キーを押します。
論理 MS-DOS ドライブが作成されます。

6 作成する領域の数だけ手順 5 を繰り返します。

7 すべての領域を作成したら、<Esc> キーを押します。FDISK 画面に戻ったら、再度 <Esc> キーを押して FDISK を終了させせます。

8 Windows の起動ディスクをパソコンにセットしたまま、パソコンを再起動します。

作成した領域は、パソコンの再起動後にドライブとして認識されます。

次へ 認識されたドライブをフォーマットします。【P24「フォーマット」】

領域の作成をやり直したいとき

作成した領域を削除する必要があります。
ここでは、拡張 MS-DOS 領域を削除する手順を説明します。

1 ［4. 領域情報を表示］を選択します。選択しているドライブの領域情報が表示されるので削除しても構わない領域であることを確認します。確認が終わったら、<Esc> キーを押します。

```
                    Microsoft Windows 98
              ハードディスクセットアッププログラム
           (C)Copyright Microsoft Corp. 1983 - 1998

                       FDISK オプション

現在のハードディスク: 1

次のうちからどれか選んでください:

1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
2. アクティブな領域を設定
3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
4. 領域情報を表示

どれか選んでください: [1]

FDISK を終了するには Esc キーを押してください.
```

注意 削除する領域を間違えないでください。

2 ［3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除］を選択します。

基本 MS-DOS 領域を削除するときは［1. 基本 MS-DOS 領域を削除］を選択し、表示されるメッセージに従って操作してください。

3

```
          MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除

現在のハードディスク: 1

次のうちからどれか選んでください:

1.  基本 MS-DOS 領域を削除
2.  拡張 MS-DOS 領域を削除
3.  拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除
4.  非 MS-DOS 領域を削除

どれか選んでください: [3]

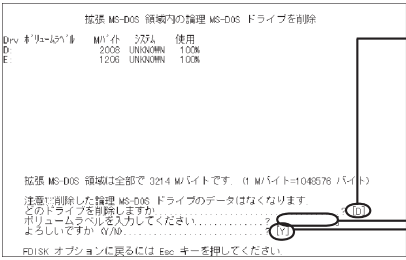
FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください.
```

3 を入力し、<Enter> キーを押します。

「削除する論理ドライブはありません」と表示されたときは、手順 7 以降の操作を行って拡張 MS-DOS 領域を削除してください。

次のページへ続く

4



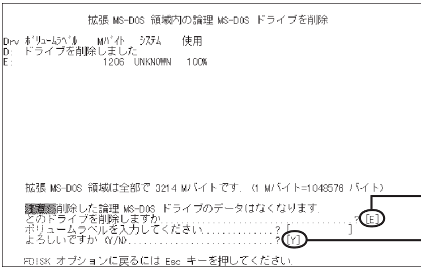
① ドライブ名を入力し、<Enter> キーを押します。

② ボリュームラベルがつけられているときはボリュームラベルを入力します。

③ Y を入力し、<Enter> キーを押します。

ドライブが削除されます。

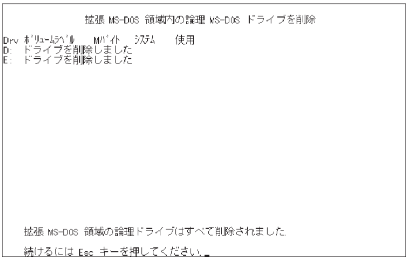
複数の論理 MS-DOS ドライブがあるとき



① ドライブ名を入力し、<Enter> キーを押します。

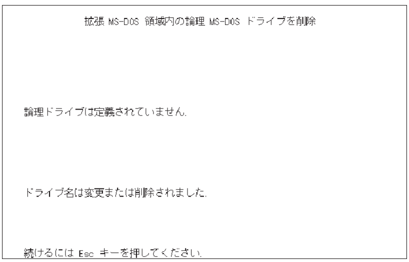
② Y を入力し、<Enter> キーを押します。

5



<Esc> キーを押します。

6



<Esc> キーを押します。

3

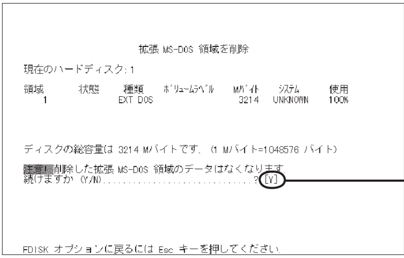
OS のインストール

次のページへ続く

7 ［3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除］を選択します。

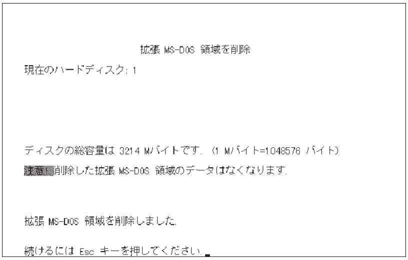
8 ［2. 拡張 MS-DOS 領域を削除］を選択します。

9



Y を入力し、<Enter> キーを押します。

10



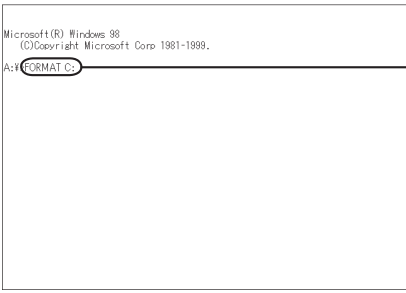
<Esc> キーを押します。

以上で領域の削除は完了です。

次へ 任意の容量で領域を作成します。【P19「領域の作成（確保）」】

3 フォーマット

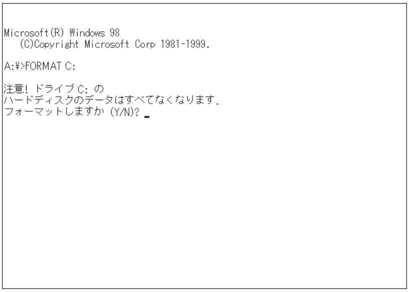
1



FORMAT C: と入力し、<Enter> キーを押します（下線部にはフォーマットしたいドライブ名を入力します。ドライブ名は C、D、E、... となります）。

次のページへ続く

2



<Y> キーを押して <Enter> キーを押します。

3 **論理フォーマットが終了すると、ボリュームラベルの入力を要求するメッセージが表示されます。任意のボリュームラベルを入力します。**

ボリュームラベルは入力しなくても構いません。

4 **作成した領域の数だけ手順 1 から 3 を繰り返します。**

以上でフォーマットは終了です。

次へ 本製品に Windows をインストールします。【P25】

Windows のインストール

本製品のフォーマットが完了したら、Windows をインストールしてください。インストール手順は、Windows のマニュアルを参照してください。

4 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップは、付属ソフト「Acronis True Image LE」で作成することができます。詳しくは、「付属ソフトの概要」（P28）を参照してください。

⚠注意 **ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。**

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・ネットワーク (LAN) サーバ　・増設ハードディスク　・DVD-R/RW　・DVD+R/RW
・DVD-RAM　・CD-R/RW　・フロッピーディスク　・光磁気ディスク（MO）

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限り容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ **Windows 98 付属のバックアップツールを使って、MO にデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計が MO ディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows 98 付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MO ディスクの空き容量に納まるようにしてください。**

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。
リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認してください。

メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には､ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- **エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Windows 98SE/98 にて 1 つのパーティションに 130GB 以上の容量をお使いの場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows 98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。**

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを､最適化 (デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると､ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ
- **最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Macintosh には、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。マニュアルなどで確認して使用してください。**

付属ソフトの概要

ここでは本製品に付属のソフトウェアの概要を説明します。各ソフトウェアのインストール方法は「付属ソフトのインストール」（P31）を参照してください。

> 各ソフトウェアのマニュアル (PDF ファイル) を読むには、Acrobat Reader(または Adobe Reader) が必要です。パソコンにインストールされていないときは、付属 CD を使ってインストールしてください。使いかたについては、ヘルプファイルをご参照ください。

Acronis True Image LE

Acronis True Image LE は、バックアップを作成するソフトウェアです。Windows を起動したままバックアップを作成できます。データのバックアップだけでなく、OS のインストールされた領域のバックアップも可能です。システムの入った領域を他の領域にバックアップしておけば、システムの入った領域に何かあった場合、復旧が容易に行えます。

> **Acronis True Image LE は、「Acronis Migrate Easy」や「Acronis Disk Director LE」「Acronis Partition Expert LE」より先にインストールしてください。先にインストールしないと、正常にインストールできないことがあります。**

● できること

- バックアップ（イメージ）の作成と復元
- パーティションの再配置とサイズ変更
- Windows のすべてのファイルシステム（FAT 16/32、NTFS）をサポート

● 使いかた

Windows Vista:

Acronis True Image LE のマニュアルを参照してください。Acronis True Image LE のマニュアルは、付属のユーティリティ CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [True Image LE のマニュアルを読む] を選択し、[開始] をクリックします。

Windows XP/2000/Me/98SE/98:

Acronis True Image LE のユーザーズガイドを参照してください。ユーザーズガイドは、Acronis True Image LE インストール後、[スタート]-[（すべての）プログラム]-[Acronis]-[TrueImage]-[Acronis TrueImage LE ユーザーズガイド] をクリックすると表示されます 。

⚠注意 **Windows Vista をお使いの方へ**
付属のユーティリティ CD をレスキューディスクとして使用し、システムを起動することはできません。Acronis True Image LE インストール後にレスキューディスクを作成してお使いください。作成手順については、マニュアルまたはヘルプをお読みください。

Acronis Migrate Easy

Acronis Migrate Easy は、ハードディスクに保存された内容を他のハードディスクに転送（コピー）するソフトウェアです。データの転送だけでなく、Windows の設定やメールの設定、ディレクトリ構成など、ハードディスク全体の情報をそのまま他のハードディスクに転送できます。また、コピーするハードディスクの容量に合わせてパーティションのサイズを変更でき、新しいパーティションを作成することもできます。

⚠注意 **Acronis Migrate Easy を使用するには、パソコンに 2 台以上のハードディスクが接続されている必要があります。パソコンにハードディスクを 2 台以上取り付けできない場合は、外付けのハードディスクをご利用ください。**

次のページへ続く

● できること
・ 設定やディレクトリ構成などを変えることなく他のハードディスクへのデータ転送
・ 転送したパーティションサイズの変更やパーティションの位置の移動
・ 新しいパーティションの作成
・ 新しい起動用ディスクまたはデータストレージデバイスの作成

● 使いかた
Acronis Migrate Easy のヘルプを参照してください。Acronis Migrate Easy インストール後に Acronis Migrate Easy のメニューから [ヘルプ]-[ヘルプ] をクリックすると表示されます。

Acronis Disk Director LE（Windows Vista）

Acronis Disk Director LE は、保存されたデータを消すことなくパーティションのサイズを変更したり、コピーしたり、移動することができるソフトウェアです。また、新しいパーティションを作成し、フォーマットすることもできます。

⚠注意 本製品では、Acronis Disk Director LE と Acronis Partition Expert LE のライセンスは共用で１つとなっております。２つのソフトウェアを同時には使用しないでください。

● できること
・ ハードディスクパーティションの作成
・ パーティションのサイズを変更やパーティションを移動
・ パーティションの内容の移動
・ パーティションの削除

● 使いかた
Acronis Disk Director LE のマニュアルを参照してください。Acronis Disk Director LE のマニュアルは､付属のユーティリティ CD をパソコンにセットしたときに表示される｢簡単セットアップ」から [Disk Director LE のマニュアルを読む] を選択し、[開始] をクリックします。

Acronis Partition Expert LE（Windows XP/2000/Me/98SE/98）

Acronis Partition Expert は、保存されたデータを消すことなくパーティションのサイズを変更したり、コピーしたり、移動することができるソフトウェアです。また、新しいパーティションを作成し、フォーマットすることもできます。

⚠注意 本製品では、Acronis Disk Director LE と Acronis Partition Expert LE のライセンスは共用で１つとなっております。２つのソフトウェアを同時には使用しないでください。

● できること
・ ハードディスクパーティションの作成
・ パーティションのサイズを変更やパーティションを移動
・ パーティションの内容のコピーや移動
・ パーティションの削除

● 使いかた
Acronis PartitionExpert のユーザーズガイドを参照してください。Acronis PartitionExpert のユーザーズガイドは､[スタート] ー [（すべての）プログラム] ー [Acronis] ー [PartitionExpert] ー [Acronis PartitionExpert LE ユーザーズガイド] をクリックすると表示されます。

メモ ユーザーズガイドは、Acronis PartitionExpert LE のインストール後に表示できるようになります。

Acronis DriveCleanser

ハードディスク全体や個別のパーティションのデータを完全に削除するソフトウェアです。
Acronis DriveCleanser で削除したデータは、ファイル復旧ユーティリティなどでも復旧できません。パソコンやハードディスクの廃棄時など、データを完全に削除したい場合にお使いください。

● できること
・ ハードディスク全体のデータ完全消去
・ パーティションのデータ完全消去

● 使いかた
Acronis DriveCleanser のヘルプを参照してください。Acronis DriveCleanser インストール後に Acronis DriveCleanser を起動画面で [ヘルプ] をクリックすると表示されます。

ファイナルパソコン引越し LE（Windows XP/2000）

ファイナルパソコン引越し LE は、古いコンピュータから新しいコンピュータに環境を移行するためのソフトウェアです。パソコンのハードディスクを交換し、新規で Windows のインストールを行うような場合にも使用できます。マイドキュメントフォルダなどに置かれていたユーザの作成したデータファイルや、各種の設定などを移行することができます。

● できること
・インターネットエクスプローラの「お気に入り」などの各種設定の移行
・アウトルックエクスプレスのメールボックス、アドレス帳などの移行
・マイドキュメントフォルダ内のデータの移行など

● 使いかた
ファイナルパソコン引越し LE のヘルプファイルを参照してください。ファイナルパソコン引越し LE のヘルプファイルは、[スタート] ─ [（すべての）プログラム] ─ [ファイナルパソコン引越し] ─ [ヘルプファイル] をクリックすると表示されます。

メモ ヘルプファイルは、ファイナルパソコン引越し LE のインストール後に表示できるようになります。

Windows Vista をお使いの方／ Windows Vista 環境へ引越しをされる方へ【優待販売のお知らせ】
以下の AOS テクノロジーズ社ホームページから、Windows Vista 対応版を優待価格にてご購入いただけます。

http://www.finaldata.jp/buffalo/

※ 株式会社バッファローでは、優待販売に関するお問い合わせを承っておりません。あらかじめご了承ください。

Disk Formatter

Disk Formatter は、ハードディスクなどのドライブ機器を簡単にフォーマットすることができるソフトウェアです。

● できること
・ パソコンに増設したハードディスクのパーティション作成やフォーマットが簡単に行えます。MO、スマートメディア、コンパクトフラッシュなどリムーバブルメディアもフォーマットできます。
・ 論理フォーマットだけでなく物理フォーマットも可能です。

● 使いかた
Disk Formatter のマニュアルを参照してください。Disk Formatter のマニュアルは、以下の手順で表示できます。

1 付属のユーティリティ CD をパソコンにセットします（簡単セットアップが起動します）。

2 [Disk Formatter のマニュアルを見る] を選択し、[開始] をクリックします。

Disk Formatter のマニュアルが表示されます。

蔵衛門デジブック PLUS（Windows XP/2000/Me/98SE/98）

デジタルカメラなどで撮影した画像データから、簡単にオリジナルのアルバムを作成できるソフトです。

● 使いかた
ソフトウェアのインストール後、ヘルプを参照してください。ヘルプは、以下の手順で起動できます。[スタート]-[(すべての) プログラム]-[蔵衛門デジブック PLUS]-[蔵衛門デジブック PLUS ヘルプ] を選択します。

ウイルスバスター（Windows Vista/XP/2000）

ウイルスに加えて新種のネットワークウイルスの検出や駆除、ハッカーからの攻撃を遮断する不正侵入検知機能などを備えたウイルス対策ソフトです。体験版のため 90 日間のご利用となります。

● 使いかた
ウイルスバスターのガイドブックを参照してください。ガイドブックは、ユーティリティ CD 内の [VBUSTER] フォルダにある [Manual] フォルダの GUIDEBOOK.pdf をダブルクリックすると表示されます。

ウイルスバスターのマニュアルを必ずお読みください

ウイルスバスターのマニュアルには、ウイルスバスターを使用するための注意事項やインストール方法が記載されています。ウイルスバスターを使用する前に必ずお読みください。

ウイルスバスターのマニュアルは、簡単セットアップ（ユーティリティ CD をパソコンにセットしたときに表示される画面）から表示できます。

付属ソフトのインストール

付属のユーティリティCDには、付属ソフト が収録されています。以下の手順でインストールしてください。

⚠注意 **Acronis TrueImage LE は、「Acronis Migrate Easy」や「Acronis Disk Director LE」「Acronis Partition Expert LE」より先にインストールしてください。「Acronis Migrate Easy」や「Acronis PartitionExpert LE」を先にインストールした場合、正常にインストールできないことがあります。**

1 **付属のユーティリティ CD をパソコンにセットします。**

簡単セットアップが起動します。
※簡単セットアップが起動しないときは、[マイ コンピュータ (またはコンピュータ)] 内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。
※ Windows Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BInst.exe の実行] をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

次のページへ続く

4 付録

2 インストールしたいソフトウェアを選択し、[開始] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

⚠注意 ・シリアル番号の入力が要求されたときは、本書表紙に記載されている番号を入力してください。
・再起動を要求されたときは、ユーティリティ CD をパソコンから取り出した後、画面に従って再起動してください。ユーティリティ CD をパソコンにセットしたまま再起動すると、Acronis True Image LE が起動することがあります。Acronis True Image LE が起動したときは、ユーティリティ CD をパソコンから取り出してから Acronis Ture Image LE を終了してください。パソコンが再起動して Windows が起動します。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

	HD-N/M シリーズ	HD-NH/M シリーズ
回転速度	4200rpm	5400rpm
セクタサイズ	512byte	
シークタイム	12msec（平均）	
電源仕様	5V ± 5%	
消費電力	2.5W（平均）／ 5.0W（最大）	
動作環境	温度 5 ～ 35℃　湿度 20%～ 80%（結露なきこと）	
外形寸法	100（D）× 70（W）× 9.5（H）mm	
インターフェース	Ultra ATA/100（※）	
対応機種	・DOS/V 機（OADG 仕様） ・NEC 製 PC-98NX シリーズ	
対応 OS	Windows Vista/XP/2000/Me(Millennium Edition)/98SE(Second Edition)/98	

※ お使いのパソコンが Ultra ATA に対応していない場合は、DMA 転送、または PIO 転送となります。パソコンが Ultra ATA に対応しているかどうかは、パソコンのメーカにお問合せください。

⚠注意 ハードディスクの動作時、特に起動時やアクセス時に音がすることがありますが、動作に問題はありません。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
付属の Acronis DriveCleanser を用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。
詳しくは http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご参照ください。

※ ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますのでご注意ください。

「Acronis True Image LE」、「Acronis Migrate Easy」、「Acronis Disk Director LE」「Acronis Partition Expert LE」、「Acronis DriveCleanser」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。

※株式会社バッファローでは、「Acronis True Image LE」、「Acronis Migrate Easy」、「Acronis Disk Director LE」、「Acronis Partition Expert LE」、「Acronis DriveCleanser」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　株式会社プロトン

【サポート情報】

インターネット：　http://www.proton.co.jp/support/personal/

TEL：　0570-032610(携帯電話・PHS では繋がりません)
　　　　受付時間　月～金曜日 9:00 ～ 17:00（夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く）

※ サポートセンターのご利用にはユーザ登録が必要になります。ユーザ登録をすることにより、バージョンアップ情報やその他プロトン製品のお得な優待販売のお知らせなどが届きます。（希望する場合のみ）

【ユーザ登録】

https://www.proton.co.jp/cgi/buffalo_s/

※ 登録後、サポートを受ける際に必要になる製品シリアルが発行されます。

※プロトン社のソフトウェアと製品本体（株式会社バッファロー）のユーザ登録は別々に行う必要があります。バッファローのユーザ登録も忘れずに行ってください。

「ファイナルパソコン引越し LE」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。

※株式会社バッファローでは、「ファイナルパソコン引越し LE」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：　AOS テクノロジーズ株式会社

住所：〒 106-0041　東京都港区麻布台 2-3-5 NOA ビル 9 F

E-Mail：hikkoshi@aos.com

ライブヘルプ：http://www.finaldata.jp/（チャット・IP 電話でお答え致します。）

ユーザ登録：https://www.finaldata.jp/support/new_registration8.html

「蔵衛門デジブック PLUS」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。

※株式会社バッファローでは、「蔵衛門デジブック PLUS」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

※ 下記窓口をご利用になるには、蔵衛門デジブック PLUS のオンラインユーザー登録が必要です。

FAX：　03-5468-1250（24 時間受付）

E-Mail：　support@triworks.com（24 時間受付）

ホームページ：　くらえもん .com(http://www.kuraemon.com/)

「ウイルスバスター」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。

※株式会社バッファローでは、「ウイルスバスター」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：　トレンドマイクロ株式会社　営業代表窓口

TEL：　03-5334-3650（音声メッセージが流れますので「1 番」をご選択ください。）

営業日：平日のみ　9:00 ～ 12:00　13:00 ～ 18:00
　　　　なお、年末年始は休日となります、予めご了承ください。

HD-N/M・NH/M シリーズ ユーザーズマニュアル

2007 年 11 月 7 日 第 3 版発行

発行　株式会社バッファロー